

課題 地域にとって利用しやすい商業環境を充実させるための方策が必要ではないか。	課題 多世代のふれあいと憩いの場となる空間の確保が必要ではないか。
課題を解決するための取組	課題を解決するための取組
<p>★第4回市民サロンでいただいた提案！</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多くの若い世代が訪れるようなまちとするために、駅周辺では、娯楽機能を有する映画館や飲食などの集客施設を誘致する。 ○高齢者をはじめ誰もが安心して買い物ができるよう、歩行者等の回遊性に配慮した商業環境を整備する。 <p>☆その他意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅を利用する学生を呼び込むなど、商業環境整備も工夫が必要ではないか。調布駅周辺には若い人が買い物や遊びに来たくなるような施設が少ない。「映画のまち調布」として、映画館などの娯楽施設がもっとあると良いと思う。若い人たちにとって魅力あるまちにしていくためにも、人が集まるような商業施設の集積が大切になるのではないか。 ・高齢者が安心して日常の買物をできる環境整備が大切ではないか。 	<p>★第4回市民サロンでいただいた提案！</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ウォーキングなどを楽めるよう、公園や緑地といった緑をネットワークとして繋げる。 ○誰もが公園を利用しやすくするため、公園の入口は段差や車輪止めなどあらゆるバリアを解消する。 ○利用者がマナーを守った利用を遵守するよう、入口箇所には自転車の乗り入れなどの禁止事項をもっとはっきり明示する。 <p>☆その他意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内に点在する公園を緑道などでつないで、ウォーキングに活用できるようにしてはどうか。 ・公園の入口には、自転車を進入させないために車輪止めが設置されていたり、段差となっていたりするが、車いすやベビーカーまでもが進入しづらくなっている。そうしたものが入りやすいように工夫した整備が必要である。

■ Dグループの発表の様子

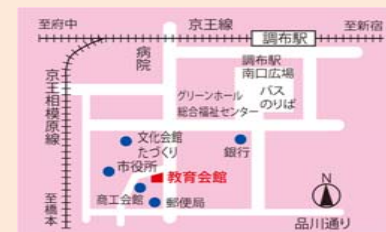


開催案内

～ 第5回市民サロン開催のお知らせ ～

マスタープランの見直しについて、自由参加形式により参加いただいた方々で話し合いを進めます。市民の方であれば参加は自由ですので、お気軽にご参加ください。

■会場案内図
※お車でのご来場はご遠慮ください。



- ★日 程 平成25年1月29日(火) 午後7時から
- ★場 所 調布市教育会館 2階201・202会議室
- ★主な内容 「災害に備えるまちづくり」をテーマとして、地震や風水害などに対応したまちづくりについてグループに分かれて意見交換を行う予定です。

■ 調布市では、マスタープランの見直し作業の過程等について、このニュースでわかりやすくお知らせしていきます。
発行 調布市都市整備部 都市計画課 都市計画係
Tel : 042-481-7453 Fax : 042-481-6800 mail : tikubetu@w2.city.chofu.tokyo.jp

登録番号
(刊行物番号)
2012-178

調布市 都市計画マスタープラン 見直しニュース 第5号



調布市では、長期的・総合的な視点から今後の都市計画の指針となるものとして平成10年に策定した「調布市都市計画マスタープラン」の見直し・改定に向けた取組を進めております。

平成25年1月18日発行

第4回都市計画マスタープランを考える市民サロンを開催しました！

マスタープラン改定に向けて、第4回市民サロンを12月12日(水)午後7時から開催しました。当日は17人の市民の方にご参加いただき、多くのご意見をいただきました。

■ 第4回市民サロンの概要について

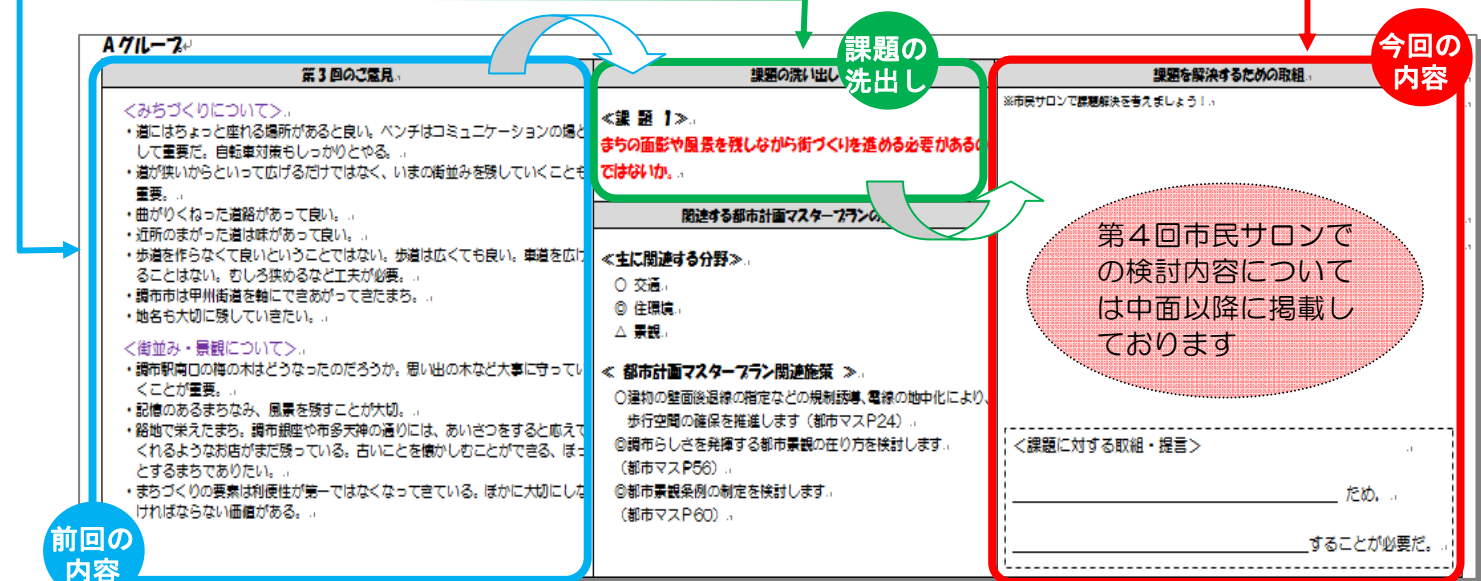
市民サロンでは、近年の社会情勢等の変化等をもとに、4つのテーマについて、グループに分かれて意見交換を行っています。1つのテーマについて、2回の市民サロンで話し合いを行い、市への提案として取りまとめることを予定しています。

今回の市民サロンでは、第3回市民サロンに引き続き、「人口構造の変化に対応したまちづくり」をテーマとする話し合いを実施しました。第3回市民サロンの意見をもとに、課題の洗い出しを行い、グループごとにその内容を確認しました。その後、洗い出した課題ごとに、解決に向けて必要な取組について話し合いを行い、グループごとに話し合った課題解決のための取組内容を全体で発表しました。

※当日の話し合いの内容は、中面以降をご覧ください。

■ 「人口構造の変化に対応したまちづくり」をテーマとする検討の流れ

- ☆ステップ1 テーマに基づく話し合いによる個別意見を項目ごとに集約し、整理(第3回市民サロン)
- ☆ステップ2 集約、整理した個別意見をもとに課題を洗い出し、確認(第4回市民サロン)
- ☆ステップ3 課題を解決するための取組について話し合い(第4回市民サロン)



※上記の表は、第4回市民サロンで活用した「Aグループ意見集約シート」の一部を抜粋したものです。

第4回市民サロン「人口構造に対応したまちづくり」での課題に対する取組の紹介

～ 市民サロンで話し合った内容を一部ご紹介します～

※ Dグループは4ページ目に記載しております

☆Aグループ☆

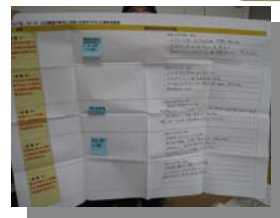
課題 まちの面影や風景を残しながら街づくりを進める必要があるのではないか。	課題 移動しやすい範囲での身近な生活サービス・交流の場づくりが必要ではないか。
課題を解決するための取組	課題を解決するための取組
<p>★第4回市民サロンでいただいた提案！</p> <ul style="list-style-type: none"> ○年をとっても安心して暮らせるように、まちの成り立ちを大切にしながら街づくりを進める。 ○利便性の追求だけでなく、地域の特性・思いを大切に、地域に馴染んだまちづくりを進める。 <p>☆その他意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔ながらの街なみを残す。年をとっても生まれ育った風景が残っていれば、住まうことへの安心につながる。 ・道路は曲がりくねっていた方が愛着が持てる。車を運転していても注意するので、交通安全にもつながるのではないか。 ・道路整備にあたっては、路線ごとに市民参加を行って、具体的に検討していく必要がある。 	<p>★第4回市民サロンでいただいた提案！</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歩ける範囲で生活サービスをうけられるよう、交流できるよう、地域の商店街を大切にする。 ○団地再生を契機に、子どもや高齢者がふれあうことのできる複合施設をつくるなど、人が集まることのできる場所を意識的につっていく。 <p>☆その他意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徒歩や自転車の移動範囲の中で買物に行けることが重要であり、地域商店街の役割は重要である。 ・多摩川住宅では、商店街に面する広場がお年寄りなどの憩いの場として使われている。飲食店がちょっとしたお年寄りの憩いの場となっている。 ・商店以外に人が来るような施設や仕掛けがあると良い。

☆Bグループ☆

課題 多世代のふれあいと憩いの場となる空間の確保が必要ではないか。	課題 住環境の向上に向けた具体的な取組が必要ではないか。
課題を解決するための取組	課題を解決するための取組
<p>★第4回市民サロンでいただいた提案！</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもや高齢者など、より多くの人憩える空間とするため、既存の公園を地域住民の意見を取り入れながら利用しやすい公園に変えていく。 ○高齢者が外出して、集えるような空間を創出するため、大きな公園だけでなく、地域に身近な小さな公園や広場などを増やす。 ○公有地の暫定利用や民地の活用なども含めて、未利用地を積極的に公園や広場などとして活用する。 <p>☆その他意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内には、空地や未利用地がまだあり、このような土地を短期間であっても借上げて、小さな広場を増やしていくことも検討できないだろうか。 	<p>★第4回市民サロンでいただいた提案！</p> <ul style="list-style-type: none"> ○防災面を含めて、居住環境を向上するためには、建替えにあたってのルールが必要であり、敷地分割の際の最低敷地面積や住棟の間隔、色彩など、関係する権利者が話し合っルールを決めていくことが必要である。 ○市内全域での住環境を向上させていくために、敷地分割の際の最低敷地面積を一律に指定することを検討すべきである。 <p>☆その他意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷地の細分化を避けるため、地権者の方々が話し合っ、地区計画で敷地分割の際の最低敷地面積を定めている住宅地がある。土地の権利に関わるルールについては、地権者の合意を得ながら、どこまで制限できるかを検討していくことが必要ではないかと思う。



■ Aグループの発表の様子



■ Bグループによる話し合いの様子



■ Cグループによる話し合いの様子

☆Cグループ☆

課題 市民の誰もが利用しやすい公共交通網が必要ではないか。	課題 誰もが安心して利用できる移動環境づくりが必要ではないか。
課題を解決するための取組	課題を解決するための取組
<p>★第4回市民サロンでいただいた提案！</p> <ul style="list-style-type: none"> ○バスをより利用しやすくするために、調布駅周辺の道路整備等と合わせて、南北連絡など利便性の高いバス路線網を交通事業者と連携して検討する。 ○バスの空白地域を解消するために、コミュニティバス等の充実を図る。 ○移動手段の選択肢の充実及び環境にやさしい交通手段の充実の観点からエコカー等によるカーシェアリング導入支援の仕組みを検討する。 <p>☆その他意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが利用しやすいとあるが、特に交通弱者である高齢者や子ども連れの親などが中心になると思う。路線バスばかりではなく、ミニバスでもよいので調布市を循環できる路線があると良い。 ・ミニバスは座席数が少ないことや、ベビーカーを乗せると車内がいっぱいになることが課題である。しかし、道路の幅員が十分でないところをバス通りすると、ミニバスでないところを走ることができないという現実もある。 	<p>★第4回市民サロンでいただいた提案！</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歩行者と自転車が安心して通行できる環境を形成するため、自転車と歩行者の通行空間の分離を図るとともに、自転車利用のマナーの向上に向けて、条例化や教育プログラムの開発など独自の取組を検討する。 ○円滑な移動を実現するため、優先順位や整備に伴う環境への影響に配慮しつつ、都市計画道路等の幹線道路の整備を進める。 <p>☆その他意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道の幅員が十分でないなかで、自転車と歩行者が混在するのは危険である。野川沿いのサイクリングロードは自転車がスピードを出して歩行者にとって危険である。 ・都市計画道路の整備は、大規模な事業として、計画的に用地の確保が可能であるが、都市計画道路ではない生活道路などの整備はそう簡単ではないだろう。